

2) 協議事項

(1) 令和4年度事業等計画

①総会

- ・令和3年度の報告、令和4年度の事業等計画について協議。
- ・令和4年6月16日に開催。

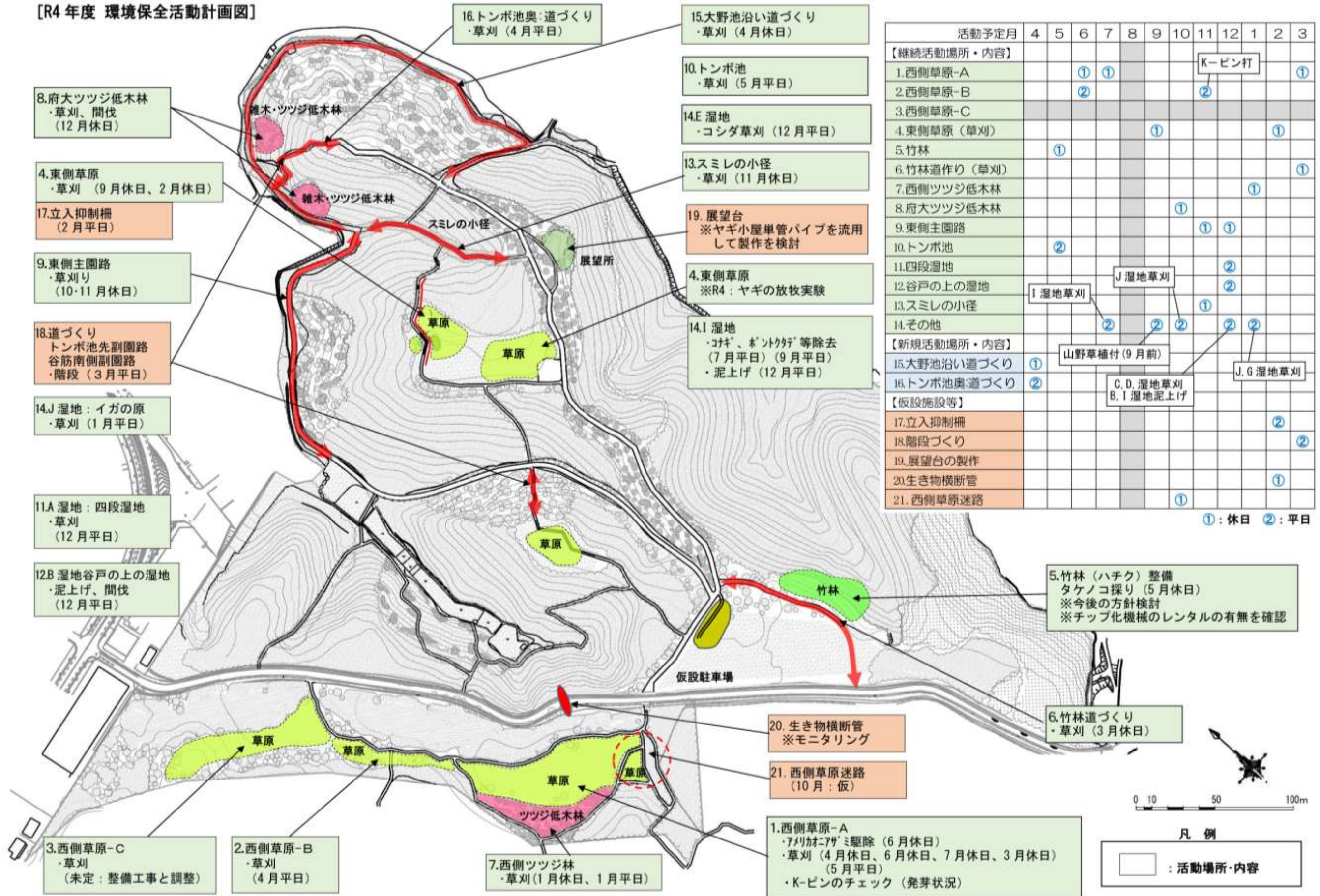
②企画運営会議

- ・令和4年度取組み進捗報告、今後の事業等計画について協議。
- ・第1回企画運営会議を令和4年10月中旬頃に開催。
- ・第2回企画運営会議を令和5年3月中旬頃に開催。

③環境保全活動

- ・協議会会員等と利用調整会議（保全活動ミーティング）で事前に活動場所や内容等を検討しながら、植生の目標像をめざした草刈や間伐等の保全作業、草原迷路づくりやツツジ林の手入れなど環境保全に配慮した利用に関する活動を行う。
- ・年22回開催。（うち4月1日～6月16日までに5回開催済み）
- ・各月の活動場所及び内容については、次ページの「R4年度 環境保全活動計画図」を参照。

[R4年度 環境保全活動計画図]



活動予定月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
【継続活動場所・内容】												
1.西側草原-A			①	①								①
2.西側草原-B			②									
3.西側草原-C												
4.東側草原(草刈)						①						①
5.竹林		①										
6.竹林道作り(草刈)												①
7.西側ツツジ低木林										①		
8.府大ツツジ低木林								①				
9.東側主園路								①	①			
10.トンボ池		②										
11.四段湿地											②	
12.谷戸の上の湿地											②	
13.スミレの小径										①		
14.その他										②	②	②
【新規活動場所・内容】												
15.大野池沿い道づくり	①											
16.トンボ池奥道づくり	②											
【仮設施設等】												
17.立入抑制柵												②
18.階段づくり												②
19.展望台の製作												①
20.生き物横断管												①
21.西側草原迷路								①				

①: 休日 ②: 平日

0 10 50 100m

凡例

□ : 活動場所・内容

④利用調整会議

④-1. 保全活動ミーティング

- ・ 公民協働による自然環境保全活動や保全に配慮した利用等について検討する。
- ・ 環境保全活動の後に年 11 回開催。(うち 4 月 1 日～6 月 16 日までに 3 回開催済み)

④-2. 事業計画ミーティング

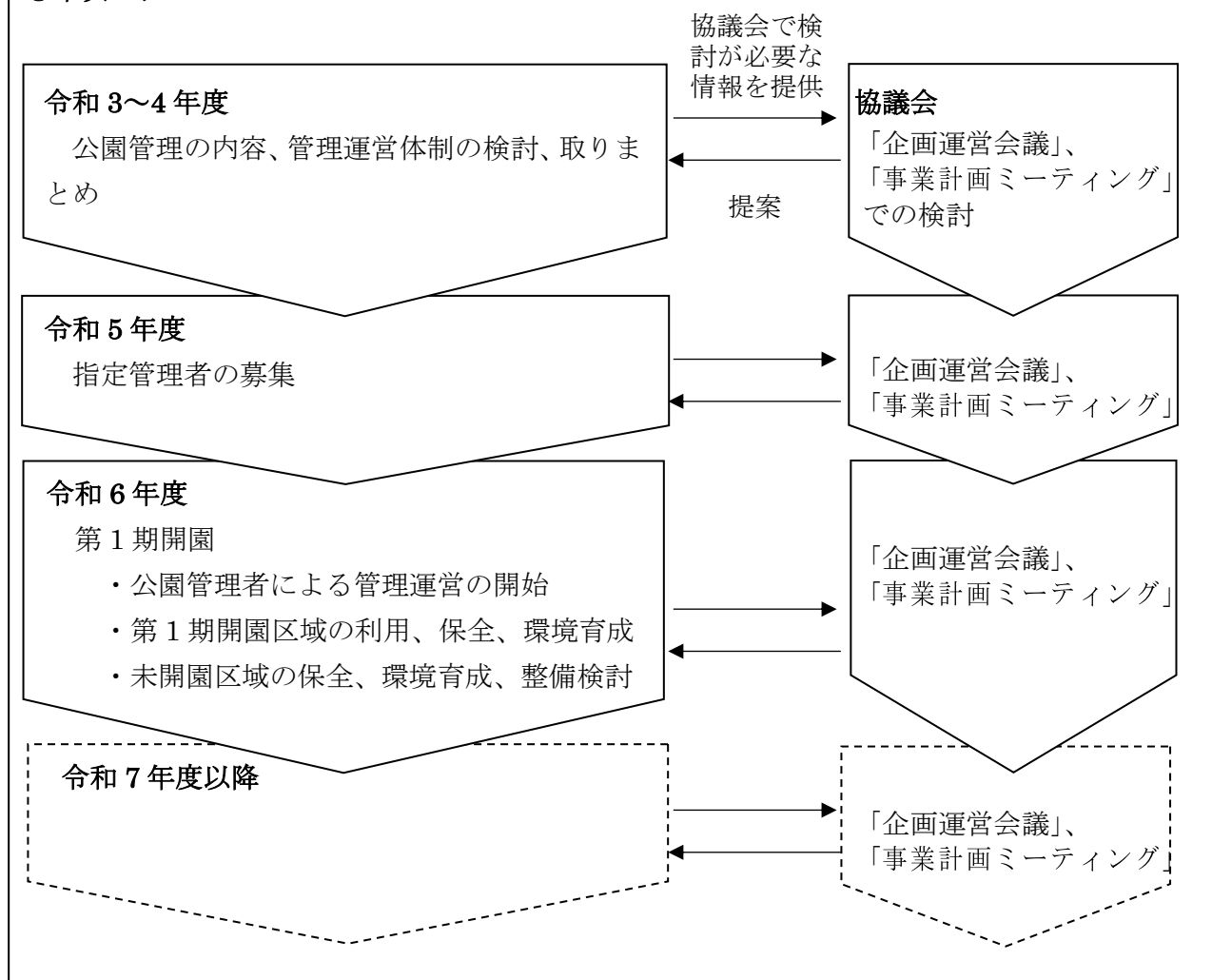
- ・ 第 1 期開園時の公園管理運営について検討する。
- ・ 企画運営会議の事前に年 2 回開催。

【第 1 期開園時の公園管理運営の検討に向けて】(令和 3 年度第 2 回企画運営会議資料抜粋)

令和 6 年度に、信太山丘陵里山自然公園の第 1 期開園区域が開園し、本公園の特徴である公民協働による「里山的二次自然の保全や復元」と「市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場としての利用促進」、「信太山丘陵里山自然公園協議会」、「保全活動ミーティング」、「事業計画ミーティング」の運営などを公園管理者が行うことになる。

今後、以下の年次スケジュールで、アダプティブマネジメントの考え方にに基づき、上記の内容具体化及び管理運営について検討を進める。

●年次スケジュール



⑤信太山里山講座

- ・信太山丘陵里山自然公園に対する知識や保全の技術、クラフト体験など利用プログラムの企画運営技術を有する人材の育成を目的とした講座を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症予防の対策のため中止していた事例見学会の再開を検討する。
- ・ガイドウォークの実践学習や利用プログラムの企画講座など選択講座の拡充を検討する。
- ・年7講座を開催。(うち必修3講座、選択4講座)
- ・全7講座の動画配信。(拡充した選択講座1講座の動画を新たに作成して追加する)
- ・広報箇所の拡大を検討する。

【令和4年度カリキュラム案】

カリキュラム		内容
区分	講座名	
必修1	【座学】 基礎講座 信太山丘陵里山自然公園 について	講師：藤原 宣夫氏 (大阪公立大学大学院 教授) 内容：信太山丘陵市有地保全・活用構想の紹介、信太山丘陵里山自然公園の計画の検討経緯及び理念・方針、信太山の里山環境の紹介や保全上の問題等について解説
必修2	【実践】 保全活動の実施について	講師：田丸 八郎氏 (NPO 信太の森 FAN クラブ) 内容：信太山丘陵の自然環境、里山的環境の保全、信太山丘陵里山自然公園で保護したい植物、除去したい植物等について解説
必修3	【実践】 公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ	講師：三輪 健一郎氏 (NPO いずみの国の自然館クラブ) 内容：器具や機械の安全な使い方の解説や、参加者が実際に剪定ハサミや刈払機を使う実践体験
選択1	【実践】 自然クラフト実践学習	講師：本藤 千賀子氏 (公園協議会) 内容：本公園で除去するクズのツルを使った「ツルかご」の作製
選択2	【実践】 保全活動	進行：和泉市 内容：ツツジの丘の草刈りと草原の草刈り、保全活動参加者へのインタビュー
選択3	【実践】 自然クラフト実践学習	講師：ガールスカウト大阪府第28団 内容：本公園の間伐したタケを使った「竹のミニテーブル」の作製
選択4	【実践】新規 ※今後検討	※今後検討 (ガイドウォークの実践学習や利用プログラムの企画に関する講座を検討)

⑥自然観察会

- ・信太山丘陵里山自然公園における自然環境の固有性・独自性、保全の必要性について多くの人に周知することを目的とした自然観察会を開催。
- ・年2回開催 (令和4年9月、令和5年2月)

⑦湿地調査

- ・貴重動植物種が生息する湿地(10箇所)について、継続的に変化を把握するための調査及びその維持管理手法の検討、公開及び非公開情報の検討。
- ・年3回調査予定。(春(実施済み)、夏、秋)

⑧草原管理手法の実験

- ・大阪公立大学によるヤギを用いた除草実験の実施。
- ・令和4年4月～令和4年8月の4ヶ月間の実施予定。



実験地の様子

⑨暫定的な利活用の試行

- ・第1期開園に向けて、今後の暫定的な利活用について、散策路の改善や竹製サイン看板を活用した情報発進、魅力創出のための利活用について試行。

例) 保全活動ミーティングで挙げた意見

草原迷路、ツリーハウス、ピザ釜づくり等

【参考：令和3年お披露目会参加者アンケートの意見抜粋】

項目	改善点やニーズに関する主な意見
園路を歩いて感じた事	<ul style="list-style-type: none">・ベンチなど休憩できる場所がほしい・足元がデコボコして歩きづらいところが多かった・花の写真付きの説明板などがあればいいと思った・エリアに道やネーミングがあれば・特徴的な樹木に樹名板をつけるとわかりやすいのでは
入口部の竹製サインにほしい情報	<ul style="list-style-type: none">・虫、花、植物の情報・おすすめの草花や昆虫、野鳥の写真と説明・希少性の草花の情報は掲載しないほうがよい・その時の見どころ(ガイドがいなくてもわかるように)・クイズ・坂が急なところや注意点
どんな利用がしたいか	<ul style="list-style-type: none">・虫や花の観察・孫や家族と散策・森林浴・竹などでベンチかテントづくり

⑩その他

- ・仮設トイレの設置の継続。